

# 博物館の未来を考える

「博物館の未来を考える」刊行会 編

定価 2,200 円 (本体 2,000 円 + 税 10%)

● A5 判カバー装 ● 本文 184 頁 ● ISBN 978-4-8055-0896-1 ● 2021 年 8 月刊行予定

## 博物館の 「今」と「未来」を考えるために

2021 年 3 月 2 日に開催されたシンポジウム  
「今後の博物館制度を考える 博物館法改正を見据えて」  
における発表をもとに、  
国際的な動向も踏まえた多角的な視点から、  
今後の博物館制度と、その制度の根幹となる  
博物館法の在り方における課題を問う。



### 目次

まえがき 半田昌之

文化政策としての博物館法改正に向けて—その課題と展望— 栗原祐司

博物館法改正へ向けての日本学術会議の提言—二つの発出を終えて— 小佐野重利

文化審議会博物館部会における博物館法改正の検討から 佐々木秀彦

ユネスコ博物館勧告・I C O M 規約 (博物館定義) から見た日本の博物館法 井上由佳

観光政策と博物館認証制度 松田陽

間に合う学芸員資格取得者の養成は可能か—新たな学芸員養成課程への課題と展望— 栗田秀法

学芸員を研究職と認定する制度について 金山喜昭

アカデミアの一部としての博物館、社会の中の博物館 佐久間大輔

シンポジウム ディスカッション 芳賀満 編

付録Ⅰ 博物館法改正へ向けての更なる提言～2017年提言を踏まえて～

付録Ⅱ 博物館法審議議事録

付録Ⅲ 博物館法

あとがき 木俣元一